

ほっこり子育てひろば ニュース

ほっこり子育てひろばは、孤立しがちな保護者が、他の保護者や地域とつながり、互いに課題の解決ができるようなきっかけを提供する「親支援プログラム」です。そのため、専門職がコーディネートを行います。あくまでも保護者同士がコミュニケーションをとれる環境づくりが大切です。

このニュースでは、さらに、地域における開催数増加及び質の向上に向けて、各施設の取組内容を参考にさせていただくため、実施施設からご提出いただいたご報告を紹介します。

支援者が感じた保護者の成長、生の声、事業実施に当たっての工夫や失敗談など、今後の「ほっこり子育てひろば」の運営に役立ててください。

活用の視点

- どのような効果があるのか
- 運営方法
- どのような既存事業を活用しているかなど

ご相談ください！

見学受付中！

Information

こどもみらい館は、ほっこり子育てひろばの妊娠期・乳幼児期の事務局を担っています。ほっこり子育てひろばの運営や報告書の記載方法等、わからないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

また、こどもみらい館において、ほっこり子育てひろばを年10回モデル実施しています。見学も受け付けておりますので、お問い合わせください。（定員3名）複数施設で実施する等、必要に応じて実施施設にお伺いすることも出来ます。

今後の平成28年度実施予定モデル事業

- 平成28年10月17日（月）親子でいっしょに遊ぼう
- 平成28年10月27日（木）離乳食
- 平成28年11月16日（水）自我の芽生えの生活習慣
- 平成28年11月25日（金）いつくしむ
- 平成29年 1月13日（金）自我の芽生えと生活習慣
- 平成29年 1月27日（金）離乳食



実施施設の取組事例

いつくしむ 既存事業（0歳児子育て教室） 市保育所	
達成できたこと	生まれてきたわが子が愛おしい大切な存在という気持ちを再確認してもらえた。
達成できなかったこと	お母さん自身も大切な存在だという自己肯定感について話し合えなかった。
実施者の評価・反省 今後の課題	<p>もう少し内容を深められたら良かった。（お母さん自身の気づきの部分）</p> <p>妊娠がわかった頃、妊婦生活の頃、出産した時の気持ちなど、一人ひとり話してもらおう事で、自分の今の子どもへの思いを再認識してもらえたと思う。参加者からもいつくしみをじっくり考えられる時間があってよかった。妊娠中のことを思い出してほっこりしたなどの感想が聴けた。毎回我が子を抱きしめたいくなる絵本の紹介をしているが、先生に絵本を読んでもらえて感動した、涙が出たなどの感想があり、お母さんたちへの読み聞かせの大切さを感じる。子育て中の自分の気持ちの振り返りや見通しになるのではと思う。</p> <p>子どもへの手紙まで書く時間がなかったが、いつくしむのワークショップをミニ冊子にしてお渡しすることで、家でも振り返ってもらえるようにした。今後も有効と感ずるので、内容など考えて丁寧に実施していきたい。</p>

親子でいっしょにあそぼう 既存事業 民間保育園	
達成できたこと	親子のふれあい・・・在園児が遊んでいる様子を見てもらい、 在園児と参加児との関わり合い
達成できなかったこと	親同士の交流
実施者の評価・反省 今後の課題	<p>参加児とその保護者のまわりに、1歳児クラスの子が行って会話をしながら一緒に遊ぶ姿が見られた。保護者も上手に在園児と関わってくださったように思う。保護者の感想にもあったのだが、日ごろ家庭では、なかなかさせてあげられない感触遊び。でも、これからの梅雨など、ちょっとしたことで遊べる他の食材の紹介もして、乳幼児期の感触遊びの大切さも話しながら、遊びを進める。最初のパペットのうさぎ人形とハーモニカでちょっとリラックスしたり、笑顔が見られたので、このようなグッズも使っていくのも良いと思った。親同士の交流をどう促していくか、今後の課題である。</p>

身に付ける プログラムどおり実施 市幼稚園 初めて実施	
達成できたこと	よく話し合えた
実施者の評価・ 反省 今後の課題	<p>実施者としての満足度・・・不満足</p> <p>「身に付ける」をテーマに選んだのは、食育の大切さについて話し合いたいと考えたからだったが、生活リズムの話から、姉・兄との関係などの話に移っていた。生活リズムの大切さについては、保護者は充分認識しているが、父との関係、姉・兄との関係もあり、思うようにいかないことが、話の中心となり、食まで話し合えなかった。次回、この課題はクリアしたい。</p>

親子でいっしょにあそぼう プログラムどおり つどいの広場	
達成できたこと	子どもの遊びや欲求について話し合い理解を深めることができた。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	<p>子どもの遊びの様子からその特徴やお母さんの困っていることなどを出し合って話し合い、様々な話を聞くことができた。母親同士が共感できる点も多くみられ、子どもの発達やそれに応じた遊びの変化などについて理解を深めることができたように思う。</p> <p>ペットボトルに水糊とビーズを入れた手作りおもちゃを作って年齢や発達に応じた遊び方を紹介して親子で一緒に遊ぶことができてよかった。</p> <p>おもちゃ作りを先にして遊んでから話し合いをしたら、できたおもちゃで子どもを遊ばせながら話せたのもっと良かったのではないかと反省した。</p>

自我のめばえと生活習慣 既存事業（よちよちクラブ） 児童館	
達成できたこと	保護者同士のつながりができた。同じしんどさを抱え、その思いを共有し、話すことで子育ての振り返りともなった。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	<p>一日の中で、トークと保育を交替する形を取ったので、30分程度のトーク時間では、少し物足りなさはあったものの、話したことのない保護者の考えなどにふれることができ、よい交流の場となった。実際には難しいが、何度も設定することで、よりお互いの関係が深まり、人に話すことで自身の気持ちの整理もできるだろうと思う。</p>



参加者からのアンケート

参加された保護者の声です。子育ての悩みや不安の解消に繋がったり、保護者自身が「ほっこり」していただく機会となっていることが伝わる記述が多く見受けられます。

離乳食

神経質にならずに、笑顔で子育てをしようと思いました

手づかみ食べは、他の子に比べて意欲があるので、手づかみメニューを頑張ろうと思った。

皆さん同じような悩みを持ってらして、ホッとしました。

親子でいっしょにあそぼう

みな同じように悩んで、自分なりの家庭のやり方を持っていらっしゃるので、我が家の方法も模索していこうと思う。

自我のめばえと生活習慣

このままで良いんだなと前向きな気持ちになれた。この様な機会に少しずつガス抜きしていけると、頑張って子育て出来るなと思いました。



自分が思いもしなかった不安の内容をうまく伝えられないことも多いのに、しっかり汲み取って納得できるまで答えをいただけたのでありがたかったです。

うまくいかない子育てに日々イライラすることが多いのですが、子どもの気持ちに寄り添うことが、逆にそのイライラが少なくなるような気がしました。

心にゆとりをもとう、子どもを認めて、ギュッとしようと思いました。

平成28年10月発行